

助成活動実績報告書

企画名	高梁川水辺とその歴史調査
団体名	エコライフたかはし

①活動の目的について

高梁川は、名前の通り高梁市を流れる河川であり、この地域の生活は高梁川と共にあった。しかしながら、堤防道路（国道）の共用、生活スタイルの変化により、市民が川と関わる機会が減少してきた。これに伴い、豊かな自然を抱える郷土を有しながら、高梁川を本当に身近な川として触れ、感じる機会が減少している。この活動を通じ、もう一度地域の資源である高梁川を見直すきっかけとし、誇りに思う気持ちを育てることで、地域活動の活性化などに貢献する。

②内容について

高梁市内の全小学校（20校）の5年生児童及びその家族を対象に、「高梁地域の水辺、3世代アンケート」を実施した。5年生の在籍がない小学校については6年生とその家族を対象とした。

<事業実施経過>

- 平成23年6月 高梁市教育委員会への事業説明・協力要請
- 7月 高梁市小学校校長会への事業説明・協力要請
- 10月 高梁市教育委員会を通じ、各小学校へアンケート配布、
配布対象世帯数 256世帯（5年生250名、6年生6名）
- 平成24年1月 アンケート回収完了 回収数198世帯、回収率77.3%
- 2月 報告書作成

③この活動によって達成された成果

高梁市は、高梁川を中心とした水辺との関わりが深い地域であり、人々の生活を通じ、その体験について一部は伝聞、伝承されてきた。しかしながら、文章記録として残っているものは殆どないであろう。

また、河川整備やライフスタイルの変化に伴い、水辺環境やそこに暮らす人々の水辺との関わり方は大きく変わってきた。しかし、持続可能な社会の実現に向け、生物多様性の保全が急務とされる現代、自然との共生が必須となるものと考えられるが、高度成長期以前の自然環境の状況を記録しておくことは、将来の自然再生への目標を明確にしていく上で、重要な資料となるものである。その意味で、今回の3世代アンケートにより、この地域における記憶の一部を書き留めておくことができたと考える。

また、家族3世代が同じアンケートを回答していく中で、お互いの水辺に対する関わり方の違いの認識、理解がすすみ、知識の伝承がなされるなど、家族内のコミュニケーションも進んだのではないかと推察される。

④今後の計画・展望について

高梁市内小学校及び高梁市関係機関など今回のアンケート協力機関を中心に報告書の配布などにより情報提供を行うとともに、今回のアンケートで得られた世代間の水辺を中心とした関わり方の違いなどを、出前講座、各種イベントなどを通じ、高梁市民に提供する計画である。これらのことにより、市民の、水辺の環境保全に対する意識の向上が期待でき、それを通じて、地域の環境美化、環境保全活動など地域コミュニティの活性が見込まれる。また、行政においては、高梁市環境基本計画（来年度策定予定）に基づく高梁市の自然環境や歴史文化施策の基礎資料となることが期待される。